

松前の 防災力

危機管理係 ☎ 985-4103

自助・共助で取り組む

わが家の災害対策講座 ～第4回～

vol. 12

いつかより、 今がそのとき…地震の備え②

先月は家具の転倒防止対策について紹介しました。
今月は、多くの危険が潜んでいるキッチン回りの地震対策について紹介します。



①食器棚

皿、茶碗、コップなどいろいろなものが入っている食器棚。震災時には、これらは全て凶器になる可能性があります。食器棚は固定していて倒れなかったとしても、中身が全部自分に降りかかってきたら…ぞっとしますね。食器棚には開き扉、引き戸などの種類がありますが、いずれの場合にも、止め具で固定する

か止めておく
と安心です。また、ガラス戸の食器棚の場合には、割れて破片が飛び散るのを防ぐ飛散防止フィルムを貼るのも効果的です。



キッチンには大きくて重い家電が多いほか、火災の原因となるガスコンロもあり危険がいっぱい。

今回紹介するグッズは近くのホームセンターで購入できます。早めの対策を心掛けましょう!

②電子レンジなどの大きい家電製品

非常に大きくて重たい電子レンジなどの家電製品ですが、地震の大きな揺れで飛んできてくることがあります。それらが飛んできてしまうと、ひとたまりもありません。



なるべく低い場所に設置する、耐震性のマットを敷いて極力飛ばないようにするなどの対策をすることで、危険を軽減できます。

③ガスコンロ回り

一番大切なことは「燃えやすいものを近くに置かないこと」。9月号でも紹介したように、消火は身の安全ができてからです。もし、ガスコンロ回りで火災が起こっても、延焼を最小限に食い止められるように、コンロの回りはきちんと整頓しておくことが大切です。火災が起こっても素早く消火活動に移れるように、近くに消火器を置いておくと、より安心できます。



◀ガスコンロの上や横に燃えるものを置くと、あっという間に延焼します。